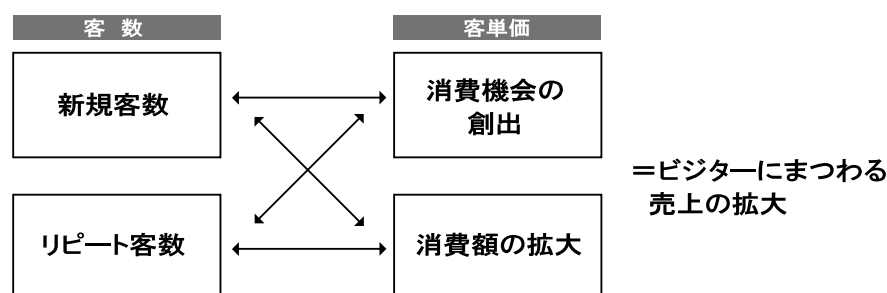


VI. 課題の抽出・施策の提言

1. 基本的考え方

ビジターズ・インダストリーの振興とは「ビジターにまつわる売上の拡大」



「ビジターズ・インダストリーの振興」とは、言い換えれば「ビジターにまつわる売上の拡大」である。売上は「客数×客単価」で成り立つものであるから、これを拡大しようとすれば、客数の「増加(新規客数・リピート客数)」と客単価の「拡大(消費機会の創出・消費額の拡大)」という2つの視点が必要となる。

【客数の増加について】 新規需要の開拓と既存需要のリピータ化という2つの方向性がある。

- 新規需要の開拓に際しては、顕在需要の具現化を図りつつ、同時に潜在需要の掘起こしも行わなければならない。
- 既存需要のリピータ化に関しては、ひとたび福岡市を訪れた誰もが、ふたたび福岡市を訪れたいと思うような状況を作り出すことが重要である。

【客単価の拡大について】 消費機会の創出が消費額の拡大に繋がる。

- 消費機会の創出については、各ビジターの特性に合わせての、観光・ショッピング・グルメ等の情報提供を行い、自由時間において、より多くの消費機会を創出することが重要となる。
- 客単価の拡大は、「消費機会の創出」により促される。

2. コンベンション客に関して

情報提供と消費機会の創出

(1) 課題の抽出

- コンベンション客の福岡市での消費拡大や福岡市へのリピート化を促進させるためには、
 - ①アフターコンベンション(福岡市の滞在におけるコンベンション以外の時間)の充実。
 - ②コンベンション自体に関わる分野での機能性・利便性の向上。
 の2点が課題となる。

（２）施策の提言

課題① アフターコンベンション（福岡市の滞在時のコンベンション以外の時間）の充実に向けて

【提言. 1】 事前資料配布ルートを活用した情報提供

●福岡市での「観光・飲食・ショッピング等」の情報を紹介するガイドブックを作成し、コンベンション参加者が最も多く利用している「事務局提供資料」に同封する。

【提言. 2】 短時間型の観光機会、消費機会の創出

●コンベンション客は、日中での自由時間が少なく、短時間で対応可能なバリエーションに富んだ観光機会・消費機会を提供する。

課題② コンベンション自体に関わる分野での機能性・利便性の向上に向けて

【提言. 3】 徒歩移動者のための道案内の充実

●多言語化による会場周辺の案内表示を充実させる。

【提言. 4】 市民ボランティアガイドの会場常駐

【提言. 5】 インターネット接続環境の整備

●コンベンション会場や宿泊施設におけるインターネット接続環境を充実させる。

3. ビジネス客に関して

効率的な観光やショッピングができる仕組み作りが大切

（１）課題の抽出

●ビジネス客の福岡市での消費拡大を促進させるためには、コンベンション客同様

①アフタービジネス（福岡市の滞在におけるコンベンション以外の時間）の充実。

②ビジネス自体に関わる分野での機能性・利便性の向上。

の２点が課題となる。

（２）施策の提言

課題① アフター・ビジネス（福岡市の滞在におけるビジネス以外の時間）の充実に向けて

【提言. 1】 ビジネスマン向けガイドブック作成と配布

●限られた自由時間に合わせ、彼らのニーズに合致した情報を紹介するガイドブックを作成し、福岡空港到着ロビーのインフォメーションカウンターやホテルのフロント等で配布する。

【提言. 2】 街中における多言語化の推進

●福岡市観光課で製作している「指差しメニュー」や九州観光推進機構の「まちあるきカンタン会話集」のようなコミュニケーションツールを活用するなど、アフタービジネスにおける言語対応を充実させる。

VI.課題の抽出・施策の提言

【提言. 3】 体験型行事への参加促進

●「九州のムラ市場」(マリノア)や「博多町家ふるさと館」等の「イベント参加」や「市民交流」の疑似体験ができる施設等の情報を提供する。

【提言. 4】 出入国手続きのスピードアップ(簡素化)

●ビジネス客が観光等により多くの時間が費やせる状況を提供するために、出入国手続きのスピードアップを図る。

課題② ビジネス自体に関わる分野での機能性・利便性の向上に向けて

【提言. 5】 国際航空路線の拡充

4. テクニカル・ビジット客に関して

「計画段階での利便性の向上」がポイント

(1) 課題の抽出

●テクニカルビジットの振興や福岡市での消費拡大のためには

(ロ)テクニカルビジットの計画段階・実施段階での利便性向上。

(月)アフターテクニカルビジット(福岡市の滞在におけるテクニカルビジット以外の時間)の充実。
の2点が課題となる。

(2) 施策の提言

課題① テクニカルビジットの計画段階・実施段階における利便性の向上

【提言. 1】 テクニカル・ビジット関連情報の集約と情報発信

●福岡でのテクニカル・ビジット受け入れ可能な「ジャンル別の企業情報」の集約や、福岡市でテクニカル・ビジットを行う具体的メリット、及びテクニカル・ビジットPR情報の提供を、パンフレットやインターネットを通し実施することが有効と考える。

【提言. 2】 日中ビジネス相互交流研修プログラムの認知、及び対象都市の拡大。

課題② アフターテクニカルビジット(福岡市の滞在におけるテクニカル・ビジット以外の時間)の充実に向けて

【提言. 3】 「消費機会の創出と消費額の拡大」に向け、観光・ショッピング等の情報の提供

●テクニカル・ビジット日程の中に福岡での観光・ショッピングを組み込んでもらうためには、計画段階における情報提供が必要である。

【提言. 4】 言語にまつわる不自由の解消

5. 市民レベルの交流に関して

福岡市の身近さを実感させる“実質的な気軽さ”の強化がポイント

（１）課題の抽出

- 韓国との市民レベルの交流の振興のためには、
 - ①福岡市の身近さを実感させる“実質的な気軽さ”の強化
 - ②学生の団体旅行に関する施策の強化
 - ③先進的な事例の発掘・紹介及び支援の３点を課題とする。

（２）施策の提言

課題① 福岡市の身近さを実感させる“実質的な気軽さ”の強化に関して

【提言. １】 「福岡Welcome Card」の機能拡充・利用促進

- 特に韓国人の利用者が多い「福岡Welcome Card」については、韓国語版を作成する。また、インターネットでダウンロード可能な環境を整える。

【提言. ２】 イベント・体験型観光への参加促進

- 「市民交流・イベント参加等」を体験した人は、再体験意向が強くなっているため、体験型観光への誘導が市民交流客増大に繋がる。
- ショッピング・コンサート等へのニーズも高いため、福岡市のホームページにおいて市内流通施設やコンサート情報サイトへのリンクページを設け、情報提供に努めることも有効である。

課題② 学生の団体旅行に関する施策の強化に関して

【提言. ３】 博多港国際航路線の拡充

【提言. ４】 修学旅行誘致の促進

- 修学旅行での体験は、リピート化や家族等へのクチコミ効果も大きいいため、修学旅行誘致を促進する。

課題③ 先進的な事例の発掘・紹介及び支援に関して

【提言. ５】 市民交流の成功事例の紹介と新規交流機会の創出。

- 市民団体交流の成功事例や、「まつり」「イベント」等の体験型観光を積極的にPRし、新たな交流機会の創出を図る。